



【開催要領】

第 212 回農林交流センターワークショップ

コメ中無機ヒ素の簡易分析

平成 30 年 8 月 2 日(木)～ 8 月 3 日(金)

内 容：

国際的な食品規格を策定する政府間機関であるコーデックス委員会において、2014 年、2016 年にそれぞれ精米中、玄米中無機ヒ素の国際基準値が決められました。国内基準はまだ設定されていませんが、コメ中無機ヒ素を低減する努力が求められています。低減のためにはまず実態を把握することが必要ですが、コメ中無機ヒ素の分析にはこれまで高価で特別な分析装置を用いる必要がありました。

本ワークショップでは市販の試薬、汎用機器を用いて安価・簡易にコメ中無機ヒ素を定量する技術を講義や実習を通じて習得していただきます。

期 間：平成 30 年 8 月 2 日(木)～ 8 月 3 日(金)

場 所：農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
筑波農林研究交流センター2 階「研修実験室」

主 催：○農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
○国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター

対 象：産学官の分析実務（予定）者や行政機関で規制・指導をおこなう者
（分析経験の有無は不問）

用意するもの：ノート P C（用意できる場合のみ）

興味のある玄米試料がある場合は 10 g 程度（1 試料まで）

募 集 人 数：8 名（応募者多数のため参加をお断りした方や開催日に都合が悪い方を対象に 2 回目の開催も考えていますので、8 月中で 8 月 2 日、3 日以外にも参加できそうな日付があれば申込書にご希望記載願います。）

日 程：日程表(別紙)

※全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。

申 込 方 法：下記により 7 月 3 日（火）までにお申し込み下さい（必着）。

○農林水産省関係の国立研究開発法人等に所属している方
筑波産学連携支援センターのホームページから「申込書・アンケート」をダウンロードし、所属機関の窓口を通じてお申し込み下さい。

○上記以外の方（大学・公立研究機関・民間企業等に所属している方）
筑波事務所のホームページのお申し込みフォーム
(<https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/tbh/208arsenic>)
からお申し込み下さい。

（なお、申込書に記載の個人情報は本ワークショップに係る事以外に使用することはありません。）

受講者の決定：7 月 1 0 日頃、メールにてお知らせいたします。

参 加 費：無料 ※受講後のアンケート回答は必須です(5～15 分程度)。

交通・宿泊費等：各自負担(筑波産学連携支援センターの宿泊施設をご利用いただけます。)
宿泊施設予約の有無は、受講決定後にお伺いいたします。

お申し込み・お問合せ先

〒305-8601 茨城県つくば市観音台 2-1-9

農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター

コーディネーション推進課 鈴木・木暮（きぐれ）

TEL：029-838-7136 FAX：029-838-7204

✉：koryu7129@cc.affrc.go.jp

【日 程 表】
第 212 回農林交流センターワークショップ
コメ中無機ヒ素の簡易分析
平成 30 年 8 月 2 日(木)～8 月 3 日(金)

8月2日(木)

13:00-13:05	挨拶	農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課長挨拶	加藤 隆
13:05-13:45	講義	分析原理、分析手順の解説	馬場 浩司
13:45-14:45	実演	講師による実演を交えた解説	馬場 浩司
14:55-16:30	実習	コメ抽出液の分析（練習）	馬場 浩司
16:30-17:15	実習	コメの粉碎、明日の分析の準備	馬場 浩司

8月3日(金)

9:15-10:00	実習	コメからの無機ヒ素の抽出	馬場 浩司
10:00-12:00	実習	PC、スキャナー、ソフトウェアの準備、設定	馬場 浩司
13:00-15:00	実習	コメ抽出液の分析	馬場 浩司
15:10-16:00	実習	画像解析・定量	馬場 浩司
16:00-16:30	フリートーク	全体の質疑応答含む	馬場 浩司
16:30	閉会		

【講 師】（◎はコーディネーター）

◎馬場 浩司 農研機構 農業環境変動研究センター 有害化学物質研究領域 環境化学物質分析ユニット
上級研究員